5月号(第509号)
平成30年4月27日
横浜市立すみれが丘小学校

学校だより

学校教育目標

〈　みんな友だち　すすんで学ぶ元気な子　〉

豊かな人間関係の中で、自分らしさを大切にして主体的に学ぶことができるようにします。

人とのかかわりの中で学び、成長しつづけるすみれっ子

校長　吉田　茂樹

初夏の陽気が続き、半袖姿で元気に遊ぶ子どもたちも増えてきました。先日は、授業参観・懇談会に多くの保護者の皆様にご参加いただきまして誠にありがとうございした。

また、ご多用の中をPTAの委員にご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。ぜひ、PTA活動の中でも保護者間の交流を深めていただけたら幸いです。

さて、早いもので始業式から、あっという間に1ヶ月が経とうとしていますが、毎日、すみれが丘小の子どもたちの素晴らしさに出会っています。

19日には、初めて1年生を迎えての集会「1年生を迎える会」が行われました。2年生から6年生まで学年ごとに趣向を凝らして歌やリコーダー奏、ダンスなどのパフォーマンスを1年生に披露しました。感心したのは、1年生への歓迎の言葉の発表で、どの学年も思いを込めて元気よく堂々と伝えることができたこと。また、協力して皆で声や振付を揃えていたこと。さらに、高学年になると、最近のお笑いのトレンドを取り入れて、1年生が楽しめる工夫をいっぱいしていたこと。そして、6年生の昨年度の計画委員会が中心となって、準備、司会を行っていましたが、司会や全校クイズの担当など素晴らしい表現力で場を盛り上げていたことなど、すみれが丘小の子どもたちのよさを発見できました。

先日は、2年生が1年生に学校探検で校内のいろいろな場所を教えてあげようと校長室にも話を聞きにやってきました。2年生のお兄さん、お姉さんぶりが楽しみです。

異学年交流では、下級生にとっては、上級生の行動力や思いやりに触れ、上級生は、頼りになる存在であると感じることでしょう。また、上級生にとっては、下級生と触れ合うことで、純粋な気持ちを感じたり、頼りにされることで自尊感情、自己有用感を高めたりできる効果が考えられます。してもらう喜びだけではなく、してあげる喜びもきっと感じてくれることと思います。1年生もしてもらうばかりではなく、6月には、近隣のみどり野幼稚園に行って交流を深める機会があります。きっとそこでは、お兄さん、お姉さんとして自分の成長も感じることでしょう。

5月には早速、ペア学年の遠足があります。この異学年交流を通して上級生のリーダーシップを高めるとともに、皆で協力することや周りを思いやることの大切さ、楽しい中にも約束を守ることの大切さなどいろいろなことを体験から学んでほしいと思います。

すみれが丘小学校では、これからも人とのかかわりを大切にする教育を推進していきます。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。